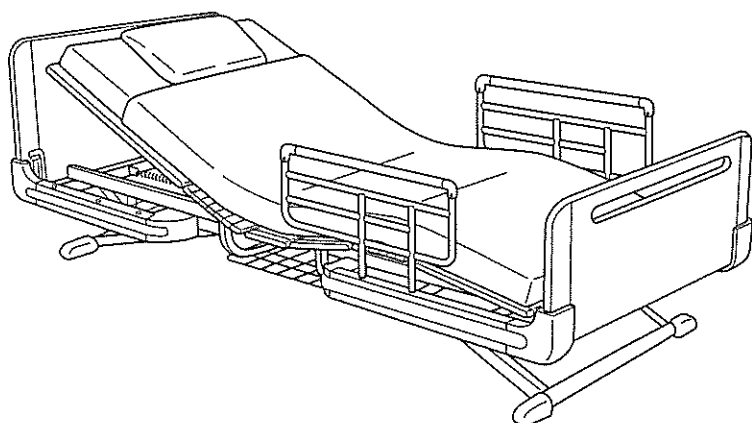


取扱説明書

7K00031200A4

KQ-803

介護用
ベッド ^{らくしょう} 楽匠



まえがき

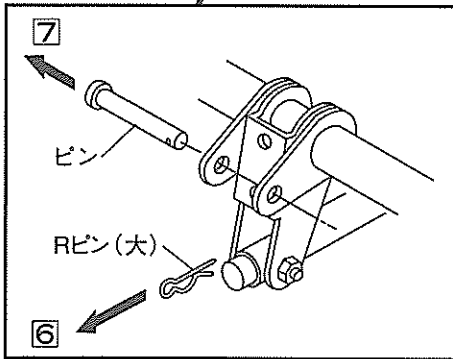
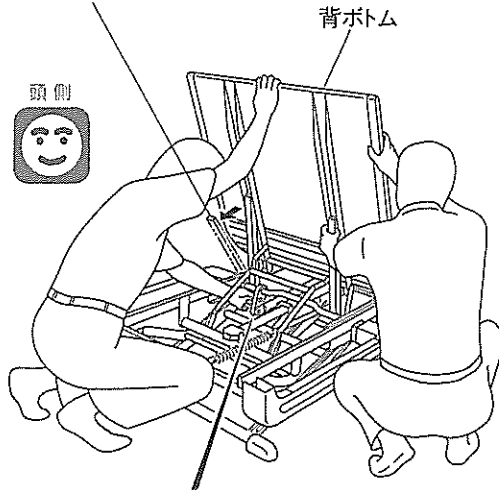
このたびは、介護用ベッド楽匠をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この「取扱説明書」には、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項と使用方法を記載しています。

- ベッドをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- ベッドで療養する方ばかりでなく、介護する方もこの「取扱説明書」をお読みください。
- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または直接弊社まで、お問い合わせください。

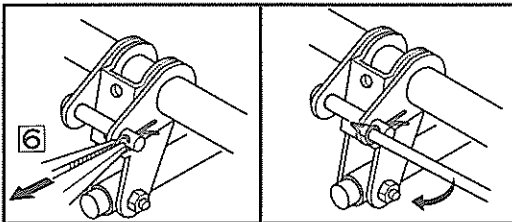
Ⅳ手動による背下げ操作/停電・故障時などの対応

背上げリングがここまで下ってきます



Rピン(大)の抜き方

ペンチ、プライヤー(小)ではさんでひっぱるかもしくはドライバーの先で、こじると取り外しが容易です。



ピンを取り外すと、背ボトムにかかっている重量は全てフリーの状態になりますので、手でしっかり支えてください。

1. 背下げのしかた

■KQ-803「楽匠」には、背ボトムが上がっている状態で、停電やベッドの故障により背ボトムが下げられなくなった場合のために、手動で背ボトムを下げる機能があります。

停電などの際には、以下の手順で背下げ操作を行なってください。



●作業は必ず2人以上で行なってください。

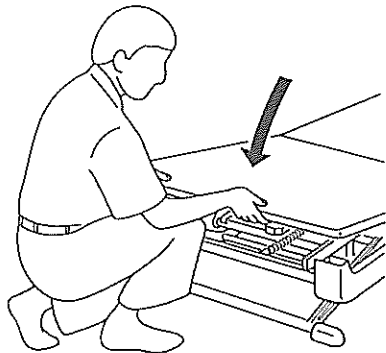
使用する工具	ペンチもしくはプライヤー(小)
--------	-----------------

- ①コンセントからベッドの電源プラグを抜いてください。
- ②療養している方と寝具をベッドから降ろしてください。
- ③ヘッドボードを取り外し、作業しやすくしてください。
- ④背ボトムと背上げリングを押さえてください。
- ⑤Rピンを取り外してください。
- ⑥ピンを取り外してください。ピンを取り外すと背上げリングが自由に動くようになります。
- ⑦背上げリングを手で支えながら背ボトムを降ろしてください。
- ⑧ヘッドボードを取り付けてください。
- ⑨寝具と療養している方をベッドに戻してください。



- 外したピンおよびRピンは復帰の際に使用します。紛失しないよう、保管してください。
- この作業を行ったときは、復帰作業を行ってもとの状態にもどすまで電源プラグはコンセントから、抜いたままにしてください。

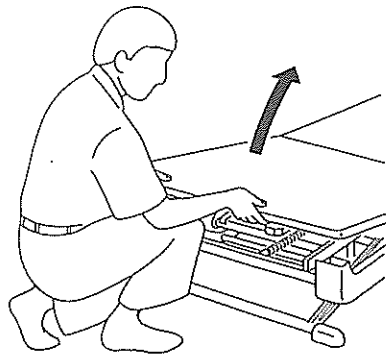
頭側



⑧

⑧ 背ボトムを降ろします。

頭側



④

⑨ ヘッドボードを取り付けてください。



● 外したピンおよびRピンは復帰の際に使用します。紛失しないよう、保管してください。

● この作業を行った時は、復帰作業を行ってもとの状態にもどすまで電源プラグはコンセントから、抜いたままにしてください。

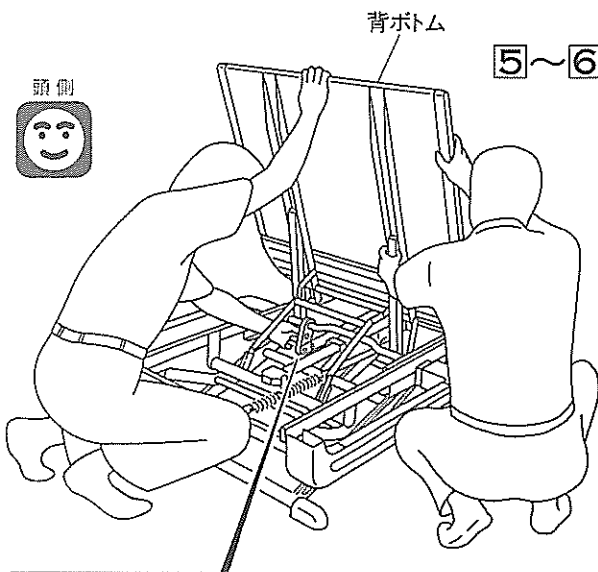
2. もどしかた

販売店の方が2人で作業を行ってください。

使用する部品	外したピン、Rピン各1本
使用する工具	—————

■ 手動で背下げを行った場合には、停電回復後にベッドを元の状態に戻す必要があります。戻さないと手元スイッチ操作で背ボトムを上げることができません。下記の要領で作業を行なってください。

頭側



⑤～⑥

① コンセントからベッド電源プラグを抜いてください。

② ベッドから療養している方と寝具を降ろしてください。

③ ヘッドボードを外し、作業しやすくしてください。

④ 背ボトムを持ち上げてください。

⑤ リンクの穴を合わせて、外してあったピンを差し込んでください。

⑥ ピンが抜けないう、Rピンを差し込んでください。

⑦ ベッドの電源プラグをコンセントに差し込んでください。

⑧ 手元スイッチを操作して背ボトムの動きを確認してください。 [ア 29ページ参照]

⑨ ヘッドボードを取り付けてください。

⑩ マットレス、寝具、オプション類をベッドに装着してください。

